

行動をおこすには、何かの目的や感情が必要です。

色々な目的がありますが、目的よりも感情に行動は感情に左右されます。

その感情には、喜怒哀楽などがあり、そのなかで「怒り」が、一番の気力になります。

ただ、怒りは両刃の剣で他人だけではなく、自身を傷つけることもあります。

無一郎は、「鬼に復讐してやる！」という怒りで、血反吐をはく修行を行い短期間で克服しました。

ただ、他人の気持ちを察することができず、冷たい性格になりましたが、後々の鬼との戦いでそれも変えることができました。

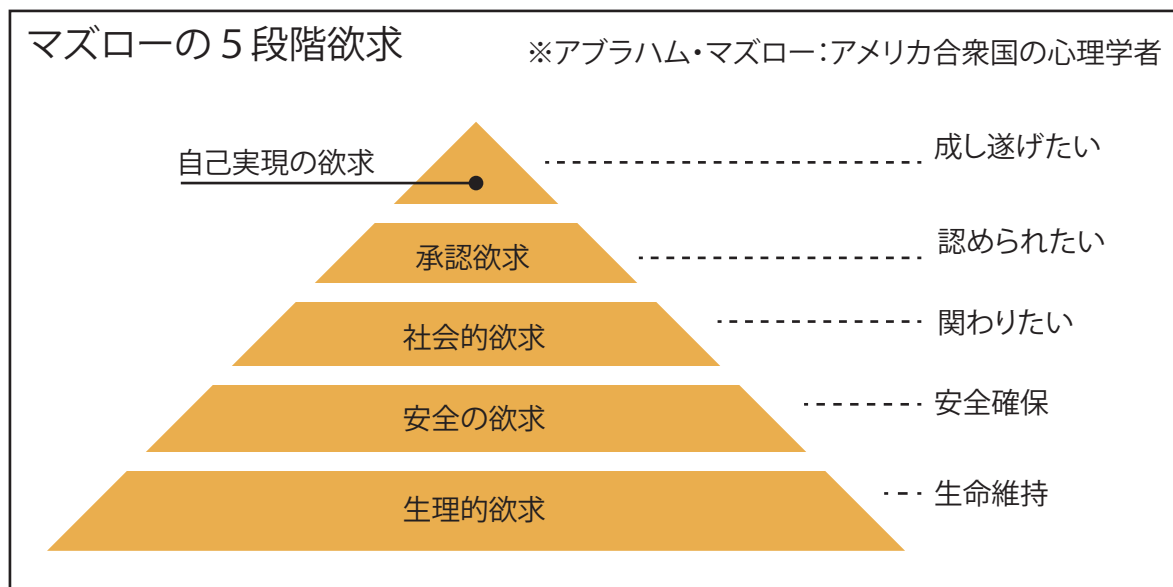
参考図書:「鬼滅の刃」の折れない心をつくる言葉。

何かを始めるには、最初の一步が必要です。

その一步は、気持ちが強いほど足がでやすいです。

また、自身の現状でも左右されます。

マズローの5段階欲求というものがあり、人間の欲求を5段階に分けたもので、1つ下の欲求が満たされると上の欲求を満たそうとするものです。



何事も命あってのものなので、まずは生命維持が満たされないことには始まりません。

それが満たされることで上の安全の欲求を満たそうとします。

生理的欲求: 食事、睡眠、排泄。

安全の欲求: 病気や事故の予防。

社会的欲求: 集団や個人から受け入れられたい。

承認欲求: 尊敬されたい、認められたい。

自己実現の欲求: 自己啓発や創造。

頼れる両親や兄がいなくなり、世に鬼がいることを知ってしまった無一郎は、まずは安全確保のために自身が強くなろうと思ったのかもしれませんが。

何かやりたいけど一步がでない、そんな時はひよっとしたらその下の欲求が満たされていないのかも？  
なかなか行動できないことがあれば、参考にしてみてください。

以上。